

☆ 第12回全国大会盛會裡に終了 ☆

大会実行委員長 辻井重男

日本社会情報学会では、去る1997年10月20日（月）、21日（火）の2日間にわたり、統一テーマ『社会情報システムの新展開～その政策と理論～』のもとに、中央大学駿河台記念館を会場として開催致しました。

基調講演のほか、シンポジウム、研究発表の各セッションに分かれ、講演・パネルディスカッションが行われ、各セッション会場とも活発な討論と意見交換がなされました。また、第1日目の夕方には、懇親会が盛大かつ和やかに行われました。

ご参加の方々はもとより、大会運営に多大なるご支援を賜りました団体会員企業の皆様、会員の皆様には心より御礼申し上げます。

第12回全国大会	[開催期日]	1997年10月20日（月） 10:00~19:30 10月21日（火） 10:00~17:50
	[会場]	中央大学駿河台記念館
	[開催校]	中央大学
	[開催組織]	実行委員長 辻井重男（中央大学理工学部 教授） 担当理事 林茂樹（中央大学文学部 教授）
	[統一テーマ]	『社会情報システムの新展開 ～その政策と理論～』

【開催内容】

◇10月20日（月） 午前

<基調講演>

- 「イベントづくりにおける情報戦略」 商業開発研究所レゾン 所長 西川 りゆうじん
「リスクマネージメントの情報学 ～四年間にわたる官邸勤務の現場から～」
日本電気㈱ 常務取締役（前 内閣官房内閣情報調査室長） 大森 義夫

◇10月20日（月） 午後

<基調シンポジウム>

【高度ネットワーク化と生活社会～21世紀型政策の基調構築に向けて～】

「高度ネットワーク化と生活社会」

増田 裕司（東京大学社会情報研究所教授）

「高知県情報生活維新 [KOCHI 2001 PLAN] の取り組みについて ～情報生活維新の実現を目指すマルチメディア社会実験～」

橋本 大二郎（高知県知事）

「個人単位での情報・ネットワークをどう考えるか」

百瀬 いづみ（イラストレーター・ワーキングマザーネットワーク）

「生活世界とネットワークング」

倉上 誠子（ニフティサーフォーラムスタッフ）

◇10月21日（火） 午前

<A系列 シンポジウム（A-1）>

【行政システムの新展開における課題～行政の電子化をめぐる～】

「行政システムの新展開における課題～行政の電子化をめぐる～」

百崎 英（㈱行政情報システム研究所）

「行政システムの新展開における課題」

広瀬 克哉（法政大学）

「行政システムの新展開における課題」

山内 康英（国際大学）

<B系列 研究発表 (B-1)>

「医療情報化と福祉～米沢市における社会知能の実例～」

佐藤 美穂子 (秋田県立湯沢商工高校)

松田 澄子 (山形県立米沢女子短期大学)

上原 施門 (山形県立米沢女子短期大学)

「地方公共団体と民間企業との情報システム比較」

福井 誠 (富山女子短期大学)

島田 達巳 (東京都立科学技術大学)

「住民満足の上を目指した行政の情報共有化」

越智 利春 (東京都主税局)

「地方公共団体における住民参加型情報支援システムに関する研究」

亀田 栄一 (東京工業大学大学院)

<C系列 自治体職員によるワークショップ (C-1)>

【従来電子計算基幹業務とオープン系情報業務の共存共栄 (1)】

「横浜市の情報化施策の取組みについて」

新堀 靖司 (横浜市企画局高度情報化推進室)

「川崎市におけるインターネットへの取組み」

大阿久 克己 (川崎市総務局情報管理部行政情報課)

「宇都宮市における地域情報化の展開」

高井 徹 (宇都宮市企画部企画審議室情報化推進担当)

◇10月21日 (火) 午後

<A系列 シンポジウム (A-2)>

【経済システムの新展開における課題～ECと電子マネー～】

「仮想社会実験プロジェクト」 矢田 光治 (㈱ハイコム)

「実践 日本型エレクトロニクス・コマース」

新谷 文夫 (㈱日本総合研究所)

「ECの発展・普及」

鈴木 寛 (通商産業省)

<B系列 研究発表 (B-2)>

「電子商取引とオープン・ネットワークについて」

杉本 伸 (東京大学)

「エージェント・タスク・調整構造分析にもとづく操作的オーガニゼーションモデル」

石田 和成 (電気通信大学大学院)

立花 裕 (日揮)

太田 敏澄 (電気通信大学大学院)

「パーソナリスティックエージェントの態度変容と再組織化に関する研究」

岡田 勇 (電気通信大学大学院)

太田 敏澄 (電気通信大学大学院)

「組織間生産流通情報ネットワークの進化過程に関する考察」

林 敬三 (電気通信大学大学院)

太田 敏澄 (電気通信大学大学院)

<C系列 自治体職員によるワークショップ (C-2)>

【従来電子計算基幹業務とオープン系情報業務の共存共栄 (2)】

「高度情報化推進のための京都市行動計画～情報新世紀・京都21～」の概要

中村 好宏 (京都市総合企画局情報化推進室情報化推進課)

「浜松市地域情報センターの開設と今後の展開」

西村 文 (浜松市企画部地域情報センター)

「津市における情報化の取組み」

中村 光一 (津市市長公室情報化)

<A系列 総括シンポジウム>**【社会情報学の理論的課題】**

「総合政策学としての社会情報学」

秋山 穰（東京都立科学技術大学）

「何が問題か～コミュニケーション・システムとしての社会～」

遠藤 薫（東京工業大学）

「社会情報学の理論的課題」

小菅 敏夫（電気通信大学）

「社会情報学の理論的課題」

玉井 克哉（東京大学）

<B系列 研究発表（B-3）>

「80年代の情報化分析～五十嵐論文に対する反論～」

兼田 敏之（名古屋工業大学）

「標準化競争～電子商取引・電子マネーの現状と課題～」

大驛 潤（東京大学大学院）

「情報ネットワーク社会における消費者の購買意思決定」

菅原 進（電気通信大学大学院）

「情報ネットワークとBBSの統合ネットワークシステムについて」

柏木 隆良（電気通信大学大学院）

<B系列 研究発表（B-4）>

「地方自治体の情報化施策におけるホームページに関する研究」

松井 啓之（東京工業大学）

八木 宏幸（東京工業大学）

熊田 禎宣（東京工業大学）

「地方自治体におけるEUC推進のための環境」

大谷 二郎（日野市役所）

半田 実（日野市役所）

小山 光雄（日野市役所）

「地域情報化・栃木県のインターネット近代史」

永井 明（㈱システムソリューションセンターとちぎ）

<閉会挨拶>

日本社会情報学会 会長 秋山 穰

☆ 各発表及び講演の概要は「第12回大会予稿集」としてまとめられています。

必要な方は、事務局までお問い合わせ下さい。